

2024 年度 英国現代奴隷法に関する声明（仮訳）

1 本声明について

本声明は、2015 年 10 月 29 日に英国で発効した現代奴隷法第 54 条に基づき、英国で事業及びサプライチェーンを行うグループを代表して当社が公表するものです。2024 年度における当社の事業及びサプライチェーンにおける奴隷労働若しくは人身取引等の国際的な人権侵害を防止するための方針と、それらの根絶のために実施する活動に関する情報を公開することが目的です。

2 オプテックスグループについて

当社は、「ベンチャースピリット溢れる企業集団を目指す」ことを企業理念とし、自らの行動を変革し、新しい事業創造に挑戦することで、「安全・安心」また「快適」で「高効率」な社会を作り出すことを志しています。世界シェア 40%の屋外用防犯センサー、世界シェア 30%・国内シェア 50%の自動ドアセンサー、世界シェアトップの画像処理用 LED 照明等の技術力があり、ニッチな分野でも高いシェアを誇る事業会社を複数社有しています。また、本社所在地でもある滋賀県の魅力を活かした環境体験学習や未来のアスリート支援を積極的に行う等、地域社会への貢献にも注力しています。当社は、本社を日本の滋賀県に置き、連結子会社 41 社及び関連会社 1 社を有し、国 及び海外合わせて 95 拠点で、約 2,100 人の従業員と共に事業を展開しています。連結売上 高は約 563 億円で、海外での売上高も高い水準を占めています。英国では、OPTEX (EUROPE) LIMITED、FARSIGHT SECURITY SERVICES LTD、RAYTEC LIMITED、GARDASOFT VISION LIMITED の 4 社が事業を行っています。

当社の会社情報並びに事業の詳細については、当社のウェブサイトをご参照ください。

[Company information | OPTEX GROUP CO., LTD.](#)

3 奴隷労働若しくは人身取引等に関する取組みについて

(1) 基本的な方針

当社では、事業活動を支える全ての人々に対する人権尊重は、企業を永続させ、社会的責任を果たし続けるために不可欠であると認識しています。2017 年の持株体制移行以来、「オプテックスグループ行動規範」を明確に定め、定期的に改定をしているほか、2024 年 2 月には「サステナビリティ基本方針」、2024 年 7 月には「オプテックスグループ人権方針」をそれぞれ公表し、人権尊重の取組みを実践しています。特に後者の方針では、国連による「ビジネスと人権に関する指導指針」及び「国際人権章典」等をはじめとする国際規範を支持し、当グループ（オプテックスグループ株式会社及び連結子会社）のすべての役職員に適用されます。また、当グループのサプライヤーやビジネスパートナーの皆様に対しても、本方針を理解及び支持してい

ただくことを期待し、継続的に働きかけています。

(2) 基本的な取組み

当社は、「お客様、取引先、株主・投資家、地域社会など全てのステークホルダーからの信頼を獲得しつつ、継続的に企業価値を向上させることが最大の使命」という基本姿勢の下、関連する方針や規程の内容を定期的に見直す仕組みを構築しています。当社では、「オプテックスグループ行動規範」及び「オプテックスグループ人権方針」をウェブサイトで公表するだけでなく、グループ各社の CSR に関する取組みについてもウェブサイトで公表しています。関連する方針や規程は英語による表記も用意の上、海外子会社も含め、当グループの役職員が日常的に参照できる仕組みを構築しています。加えて、人権侵害を含めた相談ができる内部通報制度を構築し、適切に運用しています。更に、代表取締役社長を委員長として当グループ各社のメンバーで構成されるグループコンプライアンス推進委員会の下、オプテックスグループ内の人権対応状況を定期的に確認するための調査プロセスの具体的な検討を開始し、人権侵害の予防と人権尊重の啓発を促しております。

4 サプライチェーンにおける防止プロセスについて

(1) サプライチェーンに関する方針

当社のサプライチェーンにおいても、基本的人権の尊重を目的とした取組みを行っています。奴隷労働若しくは人身取引等については、当社だけでなく、サプライチェーンの皆様との協力関係があるからこそ実効的に防止できると考え、サプライヤーの皆様と当社の考え方を共有することを重視しています。

(2) サプライチェーンに対する取組み

当グループでは「責任ある鉱物調達対応方針」、「部品調達方針」等を定めてグリーン調達を推進するとともに、人権侵害・環境破壊・武力紛争を助長することがないようサプライチェーン調査や仕入先との連携といった具体的な取組みを進めています。また、パートナー工場との改善活動等を推進するほか、サプライヤーの製造現場に定期的に出向き改善指導・交流会を実施する等、「モノづくりは人づくりである」という信念の下、人間性を最大限に尊重した仕組みを構築しています。

5 教育について

当社グループでは、「オプテックスグループ行動規範」を、英語及び日本語で、オプテックスグループ株主会社ホームページ及びイントラネットにおいていつでも閲覧可能な状態であるほか、社内通達により周知しています。

6 今後について

当社は、企業理念を実現し社会的責任を果たすため、引き続き法令遵守の徹底のみなら

Compliance with The UK Modern Slavery Act 2015

ず、高い倫理観をも醸成し、人権に関する課題の重要性を十分に認識しつつ、サプライチェーンの更なる理解と協力を得ながら事業活動に取り組んでいきます。

本声明は、2025 年 6 月 4 日に開催されたグループコンプライアンス推進委員会において承認の上、2025 年 6 月 13 日に開催されたオプテックスグループ株式会社の取締役会において承認されました。

2025 年 6 月 13 日

オプテックスグループ株式会社
代表取締役社長 中島 達也